

豊似湖の利用者数と利用者について（2015-2022 のまとめ）

高木大稔¹⁾ 中岡利泰¹⁾

キーワード

豊似湖、利用者、保全、ワイズユース

はじめに

豊似湖やその周辺には、ニホンザリガニ（絶滅危惧種Ⅱ類）やリシリシノブ（準絶滅危惧種 NT）、クマゲラ（絶滅危惧種Ⅱ類）などの貴重な動植物が生息・生育しており、保全すべき環境であるが、週末を中心に多いときには1日に50人程度の利用者が訪れることもあり、自然環境への影響が懸念される。（高木ら 2015, 2016, 2017, 2018）

えりも町では豊似湖を襟裳岬に次ぐ観光地としての活用を検討し、ヘリコプター遊覧飛行など様々な試みやPR活動を実施している。また、環境省では、日高山脈襟裳国定公園の国立公園化に取り組んでおり、豊似湖は国定公園の第2種特別地域にあたる。しかし、近年カメラマンによる野生動物の追い回しや、希少生物の乱獲。ごみのポイ捨て等の利用マナーの悪さ等もみられており、今後さらなる観光客の増加が予想される。そこで、豊似湖自然環境や生息する野生生物を保全・保護しながら観光資源として活用していくための方策（ワイズユース＝賢明なる利用）を進める基礎資料とするため、2015年から自動カウンターを用い、豊似湖と猿留山道（沼見峠）の入込者数と利用者の調査を行ったので報告する。

豊似湖について

豊似湖はえりも町と広尾町の町境にある目黒地区から林道を約8.5km進んだ日高山脈襟裳国定公園内道有林に位置している。湖は周囲約1km、湖岸の岩石の状態から深い谷間が山崩れのためにせき止められて生じたものと考えられている

（羽田ら 1938）。湖は馬蹄の形を成しているので、地元では馬蹄湖とも呼ばれている。また、湖の山側には、東方の山陵に沿って猿留山道が通じている。

調査方法

調査は、積雪等の影響にもよるが、おおむね5月から11月末までの期間実施した。豊似湖と豊似湖駐車場間の遊歩道を設置箇所A（以降 T1）、湖奥の龍神祠の数十m山側の地点を設置箇所B（以降 T2）として行った（図1）。林床の草本類やトドマツの幼木が成長し、調査に支障が生じたため、2020年から10m程度設置場所を変更した。

調査には自動カウンター（TRAILMASTER TM1550）を用いた。

データの回収は、1か月に1回～2回程度行った。回収したデータは、5時～19時の間のものを用いた。19時～翌5時までの夜間は、野生動物などの往来が多く、夜間に人が豊似湖を訪れることが考えにくいことから、人の入込みがないものとして除いた。

降雨による影響として5時～12時、12時～19時のそれぞれについて、1時間当たり1mm以上の降水量があった場合（気象庁では1mm/h以上で降雨とみなす）は、降雨により人の入込みである可能性が低いとして除外した。

T1については、利用者が豊似湖駐車場～湖間を必ず往復するものと仮定し、カウンター数÷2を豊似湖の利用者数とした。

T2については、豊似湖以外のコースを利用して沼見峠に行く登山者が帰路通過すること、エゾシカやヒグマなどの大型哺乳動物の往来が多く、その判別が難しいことから、カウンターのデータをそのまま用いた。また、2015年、2016年は猿留

1) えりも町郷土資料館 〒058-0203 北海道幌泉郡えりも町字新浜 207

山道へ向かう利用者の服装等を把握するため、デジタルカメラをカウンターと連動するように設置した。

T1、T2 の双方について1日当たりの利用者数の平均は小数点第1位を四捨五入した。

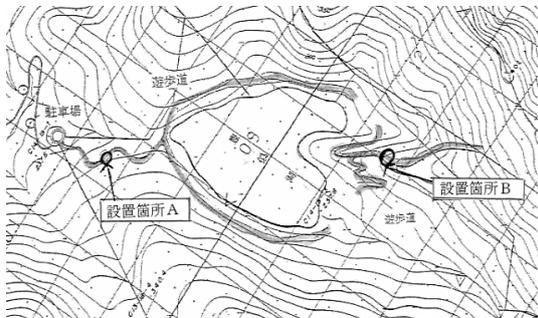


図1：調査地点 (1：5000)

結果と考察

1. 豊似湖の利用者数について

集計した T1 の自動カウンターのデータを表 1 に示した。豊似湖の利用者数は 2018 年が最も多く 2,534 人であった。

利用者数を月別にみると、5 月、9 月、10 月に多い傾向にある。5 月、9 月は大型連休、10 月は紅葉シーズンによる利用者数の増加であると考えられる。

次に各年について比較するため、自動カウンターの動作不良の月を除き、年ごとの利用者数を調査日数で割った値を(利用者数/調査日数)を図 3 に示した。

2018 年が最も高く、2015 年が最も低い結果になった。

2018 年は、えりも町が実施した豊似湖の観光地としての PR 活動、豊似湖ヘリコプター事業により、訪れる人が増加したためであると考えられる。2015 年は調査開始年であり、8 月以降のため、調査日数が少ないことにより、低くなったと推測される。

次に値が低いのは、2020 年で、これは新型コロナウイルス感染症が流行し始め、行動自粛の影響

が大きかったと考えられる。

2020 年の数値が 10 人と低いのは、例年入込者数が多い 9 月のシルバーウィークと 10 月の連休に自動カウンターの不具合により、割合が大きいデータが得られなかったことによるものであると考えられる。

本調査の1日当たりの入込者数は 11 人となり、5 月～11 月の 7 か月間で約 2,354 人の利用者が豊似湖を訪れていると推測できた。

また、土日祝日の1日当たりの利用者数の割合は平日の約 2 倍であり、利用者は土日祝日に集中していることがわかる(図 4)。

2. 猿留山道の利用者数について

集計した T2 の自動カウンターのデータを表 2 に示した。

自動カウンターの設置位置を変更した令和 2 年度とその前後でカウンター数に大きな差が見られるが、2020 年以前は、送信機と受信機の設置距離が長かったため精度が低く、設置に使用した自然木が細かったことから、風で揺れるなどによりカウンター数が増加したと考えられた。また、エゾシカが多く通る場所であったことから、カウンター数が多くなっていると考えられる。これらのことから、利用者については正確に把握できなかった。

3. デジタルカメラで撮影された写真について

2015 年から 2017 年まで、T2 の自動カウンターに同期して設置したデジタルカメラの写真では計 307 枚の写真が撮影され、ヒト 69 枚(22%)、エゾシカ 189 枚(16%)、その他 49 枚(69%)であった(図 5)。

その他 49 枚は、ヒグマ 1 枚、イヌ(ペット) 2 枚、何も映っていないもの 46 枚であった。

撮影された利用者の中には半袖やサンダル履き

などの適切でない服装の利用者や、日没近い時間に当該地を訪れる利用者が確認された。



写真1 本調査で撮影されたエゾシカ



写真2 本調査で撮影されたヒグマ



写真3 本調査で撮影された軽装の利用者

まとめ

本調査で、豊似湖には年間最大2,354人程度の利用者が訪れていることが分かった。しかし、気温低下のため自動カウンターが予定より早く電池切れを起こし、11月末までの調査ができなかった年があること、自動カウンターの不具合があったことを考慮すると、実際にはこれ以上の利用者があると推測される。

利用者は5月のゴールデンウィークや9月のシルバーウィークなどの大型連休やお盆、紅葉シー

ズンに多かった。

また、2015年から2018年にえりも町が行った豊似湖ヘリコプター事業期間中の豊似湖入込者数は2015年(9/19-10/5 17日間)220人、2016年(9/17-10/10 24日間)395人、2017年(9/30-10/22 23日間)448人、2018年(9/29-10/21 23日間)150人であり、この事業の広報が豊似湖の入込者数に与える影響は大きいと推測できた。

2022年現在、新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から事業は実施されていないが、今後再開した場合には利用者が、さらに増加すると推測できる。

調査地点T2では、デジタルカメラの写真から、が1時間以内に戻ってきている利用者が多いことから、約1km(標高差約250m)離れている沼見峠までは行かず、途中で引き返してきたと考えられる。沼見峠や猿留山道を目的として訪れた利用者以外が、猿留山道を通り沼見峠まで行くことは少ないのではないと考えられる。

利用者の中には半袖や軽装での利用者が確認された。ヒグマ、ウルシ、マダニ、スズメバチなどに危害を与える生物がいること、足元が不安定であることから、軽装ではなく自然の中に入ることを意識した服装が必要なこと等について、来訪者に伝えることが必要である。また、犬などのペットを連れ込むことは、ヒグマを誘引すること、生態系への悪影響にもつながるため禁止する必要がある。

豊似湖周辺にはリシリシノブやエゾナキウサギなどの希少な生物が確認されており(高木ら、2015)、多様で特異的な動植物が生息する極めて貴重な地域であり、その価値は非常に高い。

2023年には、日高山脈襟裳国定公園の国立公園化の計画があるが、無制限に多人数が利用する観光地ではなく、ナキウサギやキタキツネなどの野生動物が観察できる自然度が高い特性を活かし、

豊似湖の豊かで特徴的な自然環境を、保全し、後世に伝え、残していくことが求められている。

本研究が今後、豊似湖の自然環境を保全しつつ、継続的に利用していくための一助になれば幸いである。

文献

- 羽田良禾・楠木義明（1938） 豊似湖の水質と生物.陸水学雑誌:53-67
- 高木大稔・中岡利泰（2015） 豊似湖の利用者数と利用者について（2015年度） えりも研究第13号:1-6
- 高木大稔・中岡利泰（2015） 豊似湖観察会および豊似湖入込者数調査で確認された動植物 えりも研究第13号:7-8
- 高木大稔・中岡利泰（2016） 豊似湖の利用者数と利用者について（2016年度） えりも研究第14号:17-30
- 高木大稔・中岡利泰（2017） 豊似湖の利用者数と利用者について（2017年度） えりも研究第14号:33-38
- 高木大稔・中岡利泰（2018） 豊似湖の利用者数と利用者について（2018年度） えりも研究第16号:1-6
- 気象庁HP <http://www.data.jma.go.jp/obd/stats/etrn/index.php>

表 1. 豊似湖の利用者数 (T1)

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	合計	
		2015年	調査日数(日)	未調査				31	30	31	30
	入込者数(人)	未調査				133	309	256	187	885	
	入込者数/調査日数(人)	未調査				4	10	8	6	7	
2016年	調査日数(日)	未調査			30	31	31	30	31	27	180
	入込者数(人)	未調査			301	368	461	337	446	142	2,055
	入込者数/調査日数(人)	未調査			10	12	15	11	14	5	11
2017年	調査日数(日)	未調査	11	30	31	26	30	31	21	180	
	入込者数(人)		133	289	333	342	299	520	123	2,039	
	入込者数/調査日数(人)		12	10	11	13	10	17	6	11	
2018年	調査日数(日)	3	31	30	31	31	30	31	6	193	
	入込者数(人)	225	608	332	469	418	330	137	15	2,534	
	入込者数/調査日数(人)	75	20	11	15	13	11	4	3	13	
2019年	調査日数(日)	未調査	22	11	28	14	30	31	11	147	
	入込者数(人)		291	495	329	173	481	422	130	2,321	
	入込者数/調査日数(人)		13	45	12	12	16	14	12	16	
2020年	調査日数(日)	未調査	31	30	31	31	30	31	30	214	
	入込者数(人)		342	397	12	351	283	384	83	1,852	
	入込者数/調査日数(人)		11	13	0	11	9	12	3	9	
2021年	調査日数(日)	4	31	30	31	31	30	31	30	218	
	入込者数(人)	53	474	172	285	422	473	518	66	2,463	
	入込者数/調査日数(人)	13	15	6	9	14	16	17	2	11	
2022年	調査日数(日)	3	31	30	31	31	17	10	30	183	
	入込者数(人)	42	458	234	251	361	152	114	210	1,822	
	入込者数/調査日数(人)	14	15	8	8	12	9	11	7	10	

■ カウンター作動不良

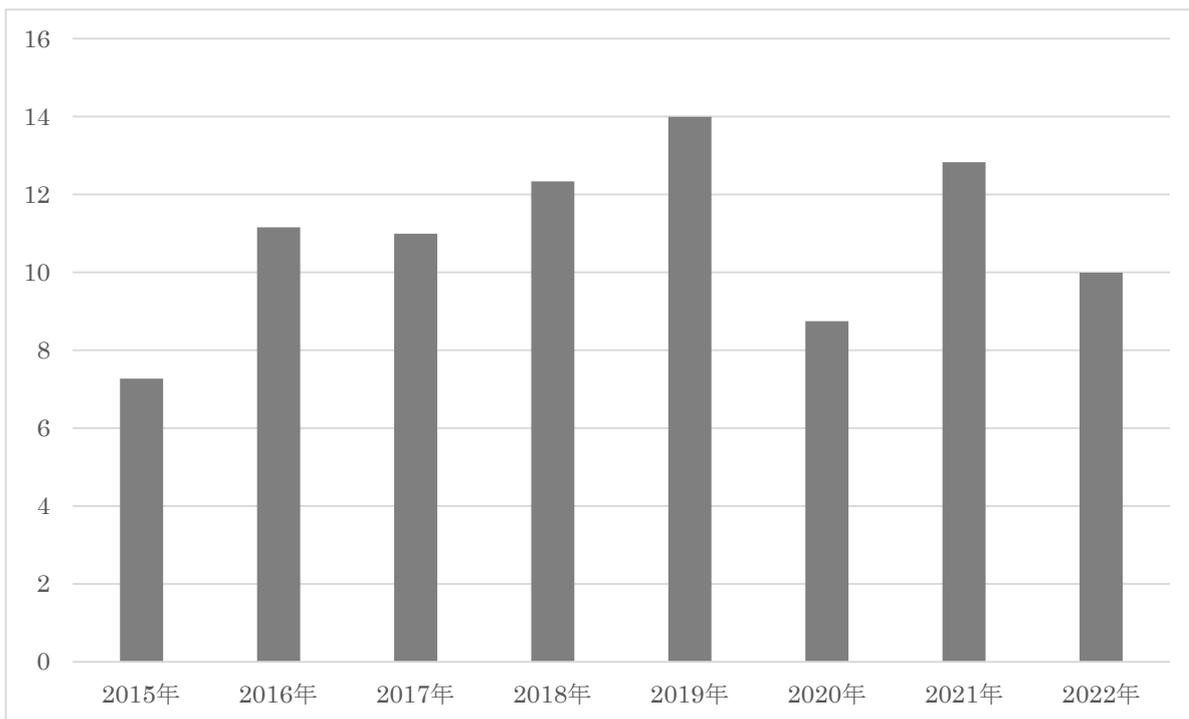


図3 調査日1日当たりの入込者数（カウンター動作不良の月を除く）

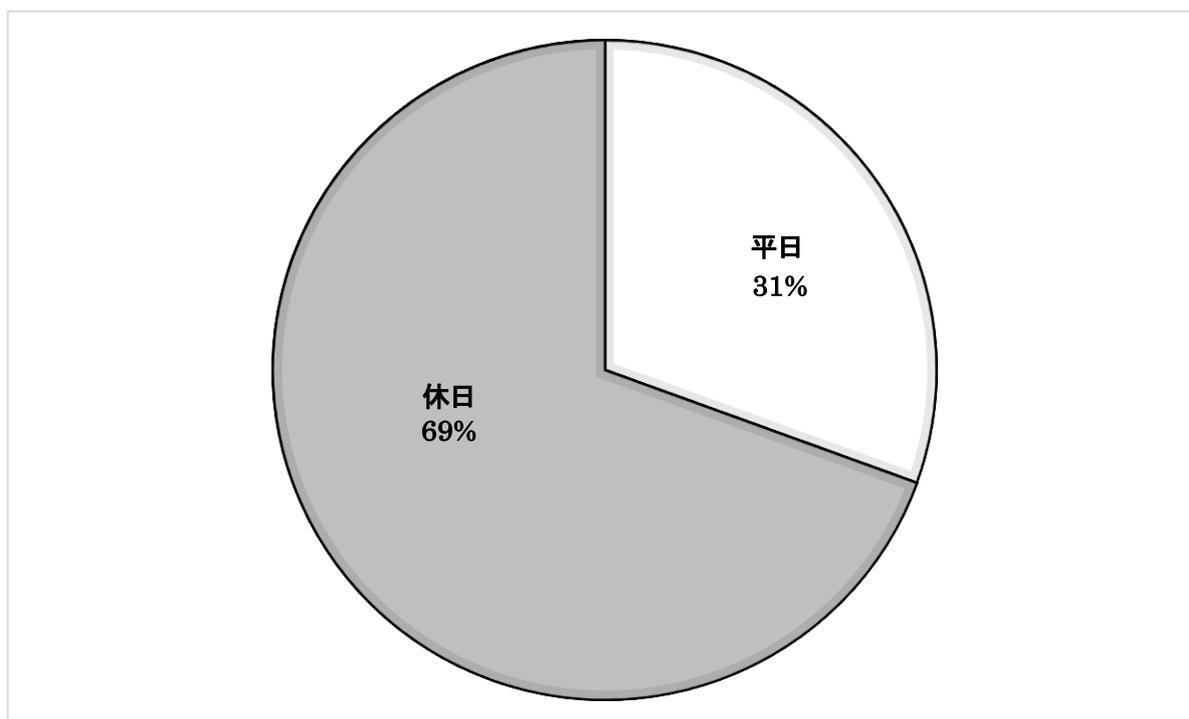


図4 平日と土日祝の1日当たりの利用者数の割合

表2. T2自動カウンターのデータ

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	合計
		2015年	調査日数(日)	未調査				31	30	31
	入込者数(人)	未調査				1855	123	101	105	2,184
	入込者数/調査日数(人)	未調査				60	4	3	4	18
		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	合計
		2016年	調査日数(日)	未調査		30	31	31	30	31
	入込者数(人)	未調査		77	98	69	185	136	77	642
	入込者数/調査日数(人)	未調査		3	3	2	6	4	4	4
		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	合計
		2017年	調査日数(日)	未調査	11	30	31	31	30	31
	入込者数(人)	未調査	85	52	85	50	361	79	41	753
	入込者数/調査日数(人)	未調査	8	2	3	2	12	3	2	4
		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	合計
		2018年	調査日数(日)	3	31	30	31	31	30	31
	入込者数(人)	6	47	53	7	61	213	694	0	1,081
	入込者数/調査日数(人)	2	2	2	0	2	7	22	0	6
		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	合計
		2019年	調査日数(日)	未調査	22	30	31	31	30	31
	入込者数(人)	未調査	34	66	36	94	353	127	21	731
	入込者数/調査日数(人)	未調査	2	2	1	3	12	4	2	4
		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	合計
		2020年	調査日数(日)	未調査	31	30	31	31	30	31
	入込者数(人)	未調査	17	21	26	23	15	37	25	164
	入込者数/調査日数(人)	未調査	1	1	1	1	1	1	1	1
		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	合計
		2021年	調査日数(日)	4	31	30	31	31	30	31
	入込者数(人)	8	17	21	26	23	15	37	25	172
	入込者数/調査日数(人)	2	1	1	1	1	1	1	1	1
		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	合計
		2022年	調査日数(日)	4	31	30	31	31	30	31
	入込者数(人)	0	36	21	20	8	34	99	0	218
	入込者数/調査日数(人)	0	1	1	1	0	1	3	0	1

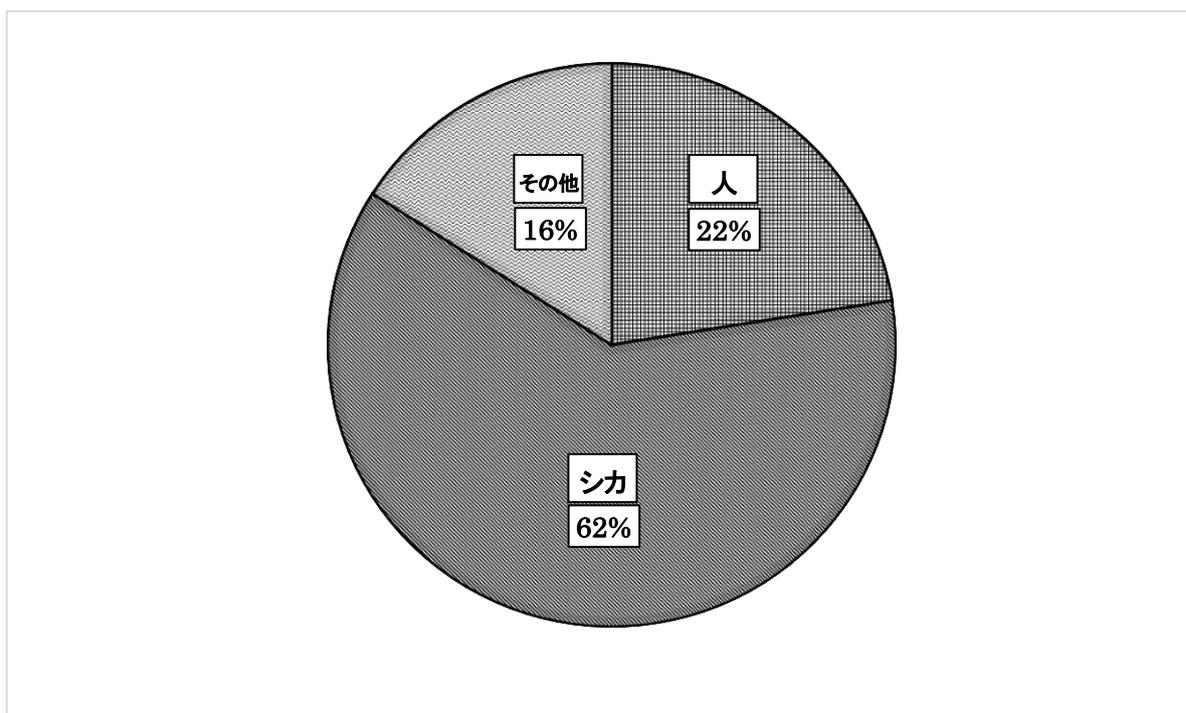


図5 デジタルカメラで撮影された写真の割合 (全 307 枚中)